



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.339 2015.2.11

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

特定整備路線 計画策定時の関係図面(原図)も内閣の認可もなし

道路計画の根拠崩れる

地域住民らが認可の撤回を要求 国土交通省は答弁不能に



特定整備路線計画の認可撤回を迫る住民ら =10日、参議院会館

10日、国会内で、東京都が進める特定整備路線計画に対し、北、品川、豊島、江戸川など各区の地域住民・団体が共同で、計画中止と事業認可撤回を求める要請行動をおこないました。

共同要請書では、① 事業認可をおこなわず、すでに認可したものは取り消すこと、② 計画決定の法的根拠を明らかにすること、③ 国の制度として家屋転倒防止などの支援をおこな

うこと、④ 地震被害想定と防災計画の見直しをおこなうことを要望。これに加え、各団体からそれぞれ独自の要請書も提出されました。国土交通省の担当者

令において定められている。都において適切に判断されている」などと答弁したことをうけて、北区の志茂一保存会の代表が「『適切に判断』という

と指摘。さらには「官報で告示されていることが決定の根拠だ」などと主張したことにに対し「当時は幣原内閣が総辞職しており内閣総理大臣は不在だったはず。誰が認可したのか」と迫ると、答弁不能に陥ってしまった。

このままの根拠が崩れた特定整備路線は認可を取り消し、撤回する以外にありません。

る1946年の都市計画決定には瑕疵があったのではな



国交省の担当者を追及する小池晃参院議員(左)と同席した吉良よし子参院議員(中)、池内さおり衆院議員(右)

住民の声届ける

日本共産党地方議員団 が東京都に申し入れ



介護問題で都の担当課長に質問する、のの山区議

5日、都庁で、日本共産党都議団、各区市町村議員団の要請行動がおこなわれ、子育て、国保、高齢者、雇用など多岐にわたる要望について、都の担当者に申し入れました。

私は、介護報酬の引き下げにともなう特養ホームの撤退、無届け介護ハウスでの高齢者の「拘束介護」という、北区で起きている2つの深刻な実態をとりあげ、高齢者が安心して暮らせる介護制度の実現へ、都が力をつくすよう要望しました。(のの山けん)

暮らし応援の区政へ転換を

志茂・赤羽後援会 新春のつどい



新春のつどい会場 = 9日、赤羽岩淵中ランチルーム

9日、赤羽岩淵中
学校のランチルームで、
日本共産党志茂・赤羽
後援会主催の新春のつ
どいが開かれ、96人が
参加しました。
第1部では、のの
山けん区議があいさつ。
北区が発表した新たな
10年計画案（基本計
画案）では、「地域の
きずなづくり」を強調
しながら、町会・自治
会がおこなっている高

齢者見守り
予算を削減
しようとし
たり、「子
育てファミ
リー層・若
年層の定住
化」を最重要課題とし
ながら、区立保育園を
民営化し、若者就労支
援事業を打ち切ろうと
しており、こうした区
の姿勢には問題がある
と指摘しました。



歌謡漫談の仲八郎さん

のの山区議はまた、
区が「財政が厳しい」
といいながら過去最高
に迫る445億円もの
基金を積み立てている
ことを明らかにし、「積
ました。」



落語の春雨や半平太さん

第2部では、仲八郎
さん（東京ボーイズ）
の歌謡漫談や、春雨や
半平太さんの落語を楽
しみ、交流を深めあい
ました。



あいさつする、のの山区議

み上げた税金は、国保
料や介護保険料の負担
軽減、若者の正規雇用
化支援、就学援助の
前倒し支給など、暮ら
しの応援に活用すべき
だ」と訴えました。